

有限会社きらり
の経営状況を説明する書類

令和5年第4回
佐伯市議会定例会

(有) きらり

令和5年3月31日現在

法人の概要

- (1) 名 称 有限会社 きらり
- (2) 目 的 本匠地域の農林業振興の核として生産者主体による担い手の組織を設立し、農林業就業者の高齢化や後継者不足が深刻な問題となっている本匠地域の第一次産業の活性化を積極的に推進する。
- (3) 設立年月日 平成17年2月18日
- (4) 資 本 金 3,000千円（市出資等額：2,400千円、市出資等割合：80%）
- (5) 役 員 取締役4人 監査役1人
代表取締役 染 矢 宣 幸
取 締 役 三 浦 渉
" 高 橋 昭 男
" 小 野 隆 壽
監 査 役 矢 野 正 人
- (6) 従 業 員 10人
- (7) 事 務 所 佐伯市本匠大字波寄 2692 番地

令和4年度事業経過報告

基幹事業である集落営農事業を始め、本匠農産物加工所「匠」の運営や茶の加工・販売、堆肥の製造・販売に取り組んだほか、公の施設の指定管理者として、佐伯市本匠釜茶加工施設など3施設について管理を継続してきました。

集落営農事業では、作業受託面積は前年度とほぼ同じ面積でしたが、そばやWCS用稲（稲発酵粗飼料）に加え、新たに大麦の作付けも行い、水田活用直接支払交付金や市の助成金制度などを活用して経営の安定化を図りました。

お茶関連では、加工量は昨年より増加しましたが、高齢化等で栽培面積が減少傾向にあり、買取りも減少しています。また、販売では新たにリーフティーカップ（茶葉入り紙コップ）の販売に取り組みました。

本匠農産物加工所「匠」については、コロナ禍ではありましたが、イベントへの参加を積極的に行い、加工所独自のイベント、また、新たな販路開拓やSNSを活用しての宣伝も継続して行いました。

1 集落営農事業

農作業の受託では、水稻作における耕起、田植などの春作業から刈取、乾燥・調製までの一連の作業体系により実施しています。令和4年度は天候もよく、作業を無事終えることができました。

ソバの作付けについては、播種、適期収穫を念頭に作業を行い、夏ソバは昨年より600 kg収穫が増えましたが、秋ソバは雨により発芽が悪く、収穫がありませんでした。

WCS用稲（稲発酵粗飼料）は、昨年より作付面積0.2 ha、収穫量2,100 kgを増やすことができました。

《水稻作業受託実績》

作業項目	R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	前年対比	備考
耕起作業	7.0 ha	6.8 ha	5.3 ha	128.3 %	
田植作業	7.0 ha	6.8 ha	6.4 ha	106.3 %	
収穫作業	7.0 ha	5.9 ha	6.6 ha	89.4 %	

《ソバ実績》

種類	R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	前年対比
夏ソバ	作付面積	1.4 ha	1.3 ha	1.4 ha
	収穫量	490 kg	860 kg	260 kg
秋ソバ	作付面積	1.5 ha	1.4 ha	1.5 ha
	収穫量	525 kg	0 kg	320 kg

《WCS用稲（稲発酵粗飼料）実績》

種 類		R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	前年対比
ツクスズカ	作付面積	1.4 ha	1.3 ha	1.1 ha	118.2 %
	収穫量	21,000 kg	19,800 kg	17,700 kg	118.6 %

《大麦実績》

	R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	前年対比	備考
作付面積	0.9 ha	0.9 ha	- ha	- %	R5年度から収穫

2 製茶工場事業

製茶工場については4月29日から5月23日まで稼働しました。生葉の受託加工は霜害も少なく、茶摘み時期の気温も良かったことにより収穫が約1.8t増加しました。生茶の買取りは昨年度の在庫分を考慮し1.3t減少での買取りをしました。

昨年度より加工は増加しましたが、お茶の生産をやめていく方も見受けられるため、高齢化による面積の減少の影響は今後も大きいと思われます。機械の老朽化への対応も必要であり、加工量と利用客数が年々減少している中、将来的な産地維持のための対策が必要となっています。

《製茶工場実績》

種 類		R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	前年対比
生葉	受託加工	16.0 t	16.2 t	14.4 t	112.5 %
	買入加工	3.0 t	2.9 t	4.2 t	69.0 %
合 計		19.0 t	19.1 t	18.6 t	102.7 %

3 製茶販売事業

製茶の販売は、市内8か所、津久見にある店舗の直売コーナーで行っています。

イベント関係では、コロナ禍の中、新茶祭りが中止となるなどイベントへの参加が一度もありませんでした。また、新たにリーフティーカップ（茶葉入り紙カップ）の販売に取り組みました。販路拡大はまだこれからですが、リピーターの方も増えつつあり、急須で飲むお茶の需要が減りつつある中で、新たなお茶の飲み方として販売促進に取り組んでいきたいと思えます。

《製茶販売実績》

	R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	前年対比
製品販売量	800 kg	821 kg	752 kg	109.2 %

4 堆肥生産販売事業

堆肥の原料となる牛糞については、昨年度同様、定期的に畜産生産者から搬入されています。堆肥作りについては、より品質の良いものを作ることに努めており、まとまった供給先もあることから順調に販売することができました。今後も良質な堆肥作りに努めていかなければと考えています。

《堆肥生産販売実績》

	R4年度計画	R4年度実績	R3年度実績	前年対比
販売量	140 t	140 t	140 t	100.0 %

5 本匠農産物加工所「匠」

加工品等の販売は、主に道の駅やよい、サンリブ、ぐりんぼっけの直売コーナーで行っています。

毎週金曜日には市役所1階ロビーでの販売と月1回のトキハインダストリー内での販売を定期的に行ってきました。

別府公園で行われた大分県農林水産祭では、製造、販売ともに見直しを行い、少しでも数多く販売できる方法を取り入れたことにより2日間とも前年度を上回る量を販売することができました。また、出店できるイベントには積極的に参加し、市内2か所での定期的な店頭販売も新たに実施しました。

機械が故障するなどがあり、今後も老朽化が懸念されますが、販売方法の新規開拓、作業の効率化などの見直しに努め、経営の安定化につなげていきたいと考えています。

貸 借 対 照 表

令和 5年 3月 31日 現在

(単位：円)

有限会社 きらり

資 産 の 部		負 債 の 部	
【 流 動 資 産 】	5,612,281	【 流 動 負 債 】	2,412,252
現 金 預 金	5,050,175	未 払 金	1,560,532
商 品	484,106	預 り 金	40,920
仮 払 金	78,000	未 払 法 人 税 等	71,000
【 固 定 資 産 】	924,434	未 払 消 費 税 等	739,800
【 有 形 固 定 資 産 】	924,434	【 固 定 負 債 】	2,384,671
機 械 装 置	924,433	長 期 借 入 金	2,384,671
車 両 運 搬 具	1	負 債 合 計	4,796,923
		純 資 産 の 部	
		【 株 主 資 本 】	1,739,792
		【 資 本 金 】	3,000,000
		【 利 益 剰 余 金 】	△ 1,260,208
		【 その他利益剰余金】	△ 1,260,208
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 1,260,208
		(内 当 期 純 損 失)	(25,400)
		純 資 産 合 計	1,739,792
資 産 合 計	6,536,715	負 債 ・ 純 資 産 合 計	6,536,715

損 益 計 算 書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

(単位：円)

有限会社 きらり

勘 定 科 目	金 額	
【 売 上 高 】		30,938,330
【 売 上 原 価 】		
期 首 商 品 棚 卸 高	756,580	
商 品 仕 入 高	4,854,157	
合 計	5,610,737	
期 末 商 品 棚 卸 高	484,106	5,126,631
売 上 総 利 益		25,811,699
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計	28,490,192	28,490,192
営 業 損 失		2,678,493
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	18	
雑 収 入 金	264,449	
補 助 金	2,468,002	2,732,469
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	8,376	8,376
経 常 利 益		45,600
税 引 前 当 期 純 利 益		45,600
法 人 税 等		71,000
当 期 純 損 失		25,400

株主資本等変動計算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

(単位：円)

有限会社 きらり

勘 定 科 目	金 額
【株主資本】	
【資本金】	
資 本 金 当期首残高及び当期末残高	3,000,000
【利益剰余金】	
【その他利益剰余金】	
繰越利益剰余金 当期首残高	△ 1,234,808
当期変動額 当期純損失	△ 25,400
当期末残高	△ 1,260,208
利益剰余金合計 当期首残高	△ 1,234,808
当期変動額	△ 25,400
当期末残高	△ 1,260,208
株主資本合計 当期首残高	1,765,192
当期変動額	△ 25,400
当期末残高	1,739,792
純資産合計 当期首残高	1,765,192
当期変動額	△ 25,400
当期末残高	1,739,792

監 査 報 告 書

第18期事業年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日迄）の事業報告、
貸借対照表、損益計算書、販売費及び一般管理費明細書ならびに付属
明細書を監査した結果、適正かつ正確であると認めます。

令和 5年 6月 19日

有限会社 き ら り

監査役 矢野 正人



令和5年度事業計画

集落営農事業については、今後も農家の高齢化や後継者不足によって耕作放棄地が増加することから、受託作業を中心に面積の拡大を図っていきます。

あわせて、ソバの栽培技術の向上を図りながら、WCS用稲（稲発酵粗飼料）、大麦の作付けを行い、国などの交付金を活用した農業経営の安定を目指します。

製茶工場の受入れについては、高齢化により収穫量は減少していくことが心配されます。茶の生産意欲が損なわれないよう買取りを継続し、生葉の生産から買取りを積極的に行っていきます。併せて販売では、新商品の販路開拓に取り組みます。

また、良質な堆肥を生産するとともに、販売量の増加を図ります。

加工所「匠」については、今後も大分県農林水産祭などのイベント等に積極的に参加する中で、作業効率や販売方法等の見直しを行い、販売促進に努めます。

1 集落営農事業

地域の受け皿として農作業受託面積の拡大を図ります。また、ソバの作付け継続、WCS用稲（稲発酵粗飼料）の面積拡大、大麦の栽培技術向上に取り組みます。加工所「匠」で使用するもち米、米の作付けを行い独自の供給に取り組みます。

《水稲作業受託計画》

作業項目	R5年度計画	R4年度実績	R4年度計画
耕起作業	7.0 ha	6.8 ha	7.0 ha
田植作業	7.0 ha	6.8 ha	7.0 ha
収穫作業	7.0 ha	5.9 ha	7.0 ha

《ソバ計画》

種 類		R5年度計画	R4年度実績	R4年度計画
夏ソバ	作付面積	1.3 ha	1.3 ha	1.4 ha
	収穫量	455 kg	860 kg	490 kg
秋ソバ	作付面積	1.4 ha	1.4 ha	1.5 ha
	収穫量	490 kg	0 kg	525 kg

《WCS用稲（稲発酵粗飼料）計画》

種 類		R5年度計画	R4年度実績	R4年度計画
ツクスズカ	作付面積	1.5 ha	1.3 ha	1.4 ha
	収穫量	22,500 kg	19,800 kg	21,000 kg

《大麦計画》

	R5年度計画	R4年度実績	R4年度計画
作付面積	0.9 ha	0.9 ha	0.9 ha

2 製茶工場事業

生葉の買取価格の見直しを行い買取りを継続します。また、作業業務（受付から受入）の見直しを行い、少しでも多くの茶葉を受け入れられるよう改善します。

《製茶工場計画》

種 類		R 5 年度計画	R 4 年度実績	R 4 年度計画
生葉	受託加工	16.0 t	16.2 t	16.0 t
	買入加工	3.0 t	2.9 t	3.0 t
合 計		19.0 t	19.1 t	19.0 t

3 製茶販売事業

お茶は年々需要が減り販売も苦戦していますが、新たなお茶の飲み方として新商品のリーフティーカップ(茶葉入り紙コップ)をイベントを通して販売促進を行います。

また、新たな販路拡大のため、事業所や宿泊施設への販売促進も積極的に取り組みます。

《製茶販売計画》

	R 5 年度計画	R 4 年度実績	R 4 年度計画
製品販売量	800 kg	821 kg	800 kg

4 堆肥生産販売事業

安定した供給ができるよう製造し、販売促進を行います。

《堆肥生産販売計画》

	R 5 年度計画	R 4 年度実績	R 4 年度計画
販売量	140 t	140 t	140 t

5 本匠農産物加工所「匠」

新商品の開発、以下の佐伯市内外へのイベント参加を積極的に行うとともに、SNSを活用しての宣伝を行い、売上向上を目指します。

また、効率よく作業できるよう個人のスキルの向上と作業時間の短縮に努め、負担の軽減と分散化に取り組みます。大分県農林水産祭では、くりもちの製造、販売方法を更に見直し、昨年より20%の売上向上を目指します。

- (1) 大分県農林水産祭
- (2) 市役所1階ロビーでの販売（毎週金曜日）
- (3) トキハインダストリー内での販売（月1回）
- (4) 道の駅やよい、さいき海の市場○での店頭販売

令和5年度収支予算書

有限会社 きらり

*収 入

(単位:円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
集 落 営 農 部 門	7,650,000	7,446,000	
製 茶 部 門	9,920,000	9,354,000	
堆 肥 施 設 部 門	560,000	560,000	
本匠農産物加工所匠部門	16,233,000	14,250,000	
雑 収 入	290,000	750,000	生産組合『あぐり』・観光協会手数料 他
受 取 利 息	1,000	1,000	
合 計	34,654,000	32,361,000	

*支 出

(単位:円)

項 目	科 目	予 算 額	前年度予算額	備 考
人 件 費	役 員 報 酬	400,000	400,000	代表取締役 1名 取締役 3名
	給 料 手 当	2,700,000	2,700,000	事務員2名分
	賞 与	200,000	200,000	年2回
	法 定 福 利 費	450,000	420,000	社会保険料・労災保険 他
小 計		3,750,000	3,720,000	
業 務 費	福 利 厚 生 費	20,000	30,000	
	旅 費 交 通 費	10,000	10,000	出張・イベント等
	会 議 費	10,000	19,000	定例会議等
	研 修 費	5,000	5,000	視察研修等
	接 待 交 際 費	5,000	5,000	
	消 耗 品 費	200,000	200,000	事務用品 他
	通 信 費	150,000	200,000	電話料・切手代・ケーブル使用料
	水 道 光 熱 費	60,000	38,000	事務所電気料・水道料
	支 払 手 数 料	5,000	8,000	振込手数料
	支 払 手 数 料	52,000	52,000	税理士・監査 他
	租 税 公 課	1,100,000	700,000	印紙代・消費税・自動車税
	地 代 家 賃	18,000	18,000	事務所賃貸料
	修 繕 費	100,000	30,000	社用車修理代
	車 両 関 係 費	180,000	180,000	ガソリン代他
	保 険 料	130,000	90,000	PL保険料 ・車両保険等
	リ ー ス 料	30,000	20,000	コピー機リース料
減 価 償 却 費	220,000	380,000		
雑 費	150,000	30,000		
法 人 税 等	90,000	90,000		
小 計		2,535,000	2,105,000	
部 門 費	集 落 営 農 部 門	6,443,000	5,895,000	
	製 茶 部 門	6,695,000	6,495,000	
	堆 肥 施 設 部 門	303,000	308,000	
	本匠農産物加工所匠部門	14,928,000	13,838,000	
小 計		28,369,000	26,536,000	
合 計		34,654,000	32,361,000	

収 入	34,654,000
支 出	34,654,000
差 引	0